

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
31242	青果部市場維持管理事業	農林水産部	中央市場課	2
31242	青果部市場施設整備事業	農林水産部	中央市場課	3
31242	青果部業務運営事業	農林水産部	中央市場課	4
31242	花き部市場維持管理事業	農林水産部	中央市場課	5
31242	花き部市場施設整備事業	農林水産部	中央市場課	6
31242	花き部業務運営事業	農林水産部	中央市場課	7
31242	松山市中央市場運営協議会負担金	農林水産部	中央市場課	8

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	管理担当	連絡先	924-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	門田 泰典	リーダー	大原 文博	担当	隅田 完二	堀内 大吾

1.事業概要【Plan】

事業名	青果部市場維持管理事業		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
31242								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する							
施策	事業所立地と雇用創出の推進			-	-	-	-	
主な取組	流通機能の充実		根拠法令	卸売市場法、松山市中央卸売市場業務条例、松山市中央卸売市場業務条例施行規則				
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営							
目的・背景	<p>・中央卸売市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、青果物の流通の円滑化を図る。</p> <p>・昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の青果物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和49年度に松山市中央卸売市場を開設した。</p>							
対象・内容	<p>【対象】 松山市中央卸売市場(青果部)及び関係者</p> <p>【事業内容】 中央卸売市場(青果部)の維持管理に必要な光熱水費の支払、保安警備、清掃業務、廃棄物処理、各施設・設備の保守点検管理業務等の委託を行う。</p>							

2.事業実施【Do】

		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費	
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】				
予算(千円)	事業費計	187,527	254,419	267,867			主な取組内容【R5】	電気代		75,900
	国費・県費					保安警備業務委託			44,492	
	市債					清掃業務委託			5,090	
	その他	184,600	254,419	267,867		・市場施設や設備の維持管理に必要な保安業務、清掃業務、廃棄物処理及び各施設・設備の保守点検業務を実施。				
	一般財源	2,927								
決算(千円)	事業費計	164,781	190,143			主な取組内容【R5】	・市場施設や設備の維持管理に必要な保安業務、清掃業務、廃棄物処理及び各施設・設備の保守点検業務を実施。			
	国費・県費									
	市債									
	その他	164,781	190,143							
	一般財源									
	(執行率)	88%	75%							
人役	正規職員	2.3	2.8	2.8		特記事項				
	その他									
	合計	2.3	2.8	2.8						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	電気使用量の抑制		目標	-	2,800,000	2,800,000	2,800,000	市場関係者等の節電取り組み成果等による。
			実績	2,668,962	2,623,048			
	現状維持	Kwh	達成率	-	106.3			
成果指標	市場開場日数		目標	254	251	250	250	
			実績	254	251			
	現状維持	日	達成率	100%	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	市場施設等の維持管理を適正に行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できた。						
課題	人件費や単価等の上昇により、委託料の増加傾向が続いている。電力会社等の値上げによる光熱水費の高騰が続いている。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の生鮮食料品等の流通拠点として必要な施設の維持管理を行うため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	管理担当	連絡先	924-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	門田 泰典	リーダー	大原 文博	担当	隅田 完二	堀内 大吾

1.事業概要【Plan】

事業名	青果部市場施設整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
31242							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する						
施策	事業所立地と雇用創出の推進		-	-	-	-	
主な取組	流通機能の充実	根拠法令	卸売市場法、松山市中央卸売市場業務条例、松山市中央卸売市場業務条例施行規則				
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営						
目的・背景	・中央卸売市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、青果物の流通の円滑化を図る。 ・昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の青果物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和49年度に松山市中央卸売市場を開設した。						
対象・内容	【対象】 松山中央卸売市場(青果部)及び関係者 【事業内容】 ・開設者として、円滑な市場業務が行えるよう、施設や設備の改修等を実施。 ・中央卸売市場(青果部)の設備等の現状把握、設計業務、工事等の実施。 ・突発的な故障等に対する営繕工事等の実施。 ・委託業者、工事業者等への委託料、工事請負費の支出。						

2. 事業実施【Do】

		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	舗装修繕工事		15,862
予算(千円)	事業費計	45,957	162,739	346,071					
	国費・県費								
	市債	6,000	93,800	272,000					
	その他	39,957	68,939	74,071					
	一般財源								
決算(千円)	事業費計	29,934	32,882						
	国費・県費								
	市債	5,600							
	その他	24,334	32,882						
	一般財源								
	(執行率)	65%	20%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項	・バナナ加工所改修工事は、事業者の営業に影響がでないように施工したことから、時間を要し年度内に完了できなかった。		
	その他								
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	工事請負費の抑制(大規模改修等)	目標	-	128,800	195,800	23,500	・バナナ加工所A系熟成設備更新工事において、物価高騰等の影響により工事費が増加したこと等による。	
		実績	18,062	133,388				
	現状維持	千円	達成率	-	96.4			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	市場施設等の維持管理を適正に行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できた。						
課題	施設の老朽化に伴い、工事請負費が増大している。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の生鮮食料品等の流通拠点として必要な施設の機能維持を図るため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	中央市場業務担当	連絡先	924-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	門田 泰典	リーダー	金子 知典	担当	秋山 祐磨	関谷 宏一

1.事業概要【Plan】

事業名	青果部業務運営事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
31242							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる		-	-	-	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進						
主な取組	流通機能の充実	根拠法令	卸売市場法、松山市中央卸売市場業務条例、松山市中央卸売市場業務条例施行規則				
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営						
目的・背景	・中央卸売市場の市場取引を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、青果物の流通の円滑化を図る。 ・昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の青果物の流通の円滑化及び鑑定供給を実現するため、昭和49年度に松山市中央卸売市場を開設した。						
対象・内容	【対象】松山市中央卸売市場(青果部)及び関係者 【事業内容】関係法令に基づき、卸売業務の適正で円滑な実施を図る。 ・関係例規の整備 ・市場関係者の業務の許可、指導、監督 ・売買取引の監督等 ・残留農薬検査の実施及びHP等での結果公表						

2. 事業実施【Do】

		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	3,179	3,957	4,899		主な経費 (千円) 【R5 決算】	残留農薬外部委託検査手数料		990
	国費・県費						全国中央卸売市場理事会等出席用務		200
	市債						卸売業者の財務分析に伴う公認会計謝礼金		110
	その他	3,179	3,957	4,752					
	一般財源			147					
決算 (千円)	事業費計	1,596	2,759			主な取組内容 【R5】	・残留農薬外部委託検査を実施 ・全国中央卸売市場理事会等への出席 ・卸売業者・仲卸業者の財務分析を実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他	1,596	2,759						
	一般財源								
	(執行率)	50%	70%						
人役	正規職員	3.4	3.4			特記事項			
	その他								
	合計	3.4	3.4	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	残留農薬外部委託検査	目標	10	10	10	10	青果物の安全・安心な市場流通のため、定期的に検査を実施している。	
		実績	10	10				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%			
活動指標	財務分析 (卸・仲卸業者)	目標	1	1	1	1	青果物の円滑な流通や安定供給のため、関係者の財務分析を実施している。	
		実績	1					
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	「安全・安心」な青果物の市場取引のため、適正な残留農薬検査を実施したほか、卸売事業者・仲卸業者財務分析を行うことで、円滑な流通や安定供給を行うことができるため。						
課題	新型コロナウイルス感染症対策後の経済活動の変化に対応した円滑な市場運営	今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市場運営に必要な業務であるため			

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	管理担当	連絡先	924-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	門田 泰典	リーダー	大原 文博	担当	隅田 完二	堀内 大吾

1.事業概要【Plan】

事業名	花き部市場維持管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
31242							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		-	-	-	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進						
主な取組	流通機能の充実	根拠法令	卸売市場法、松山市公設花き地方卸売市場業務条例、松山市公設花き地方卸売市場業務条例施行規則				
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営						
目的・背景	<p>・公設花き地方卸売市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、花きの流通の円滑化を図る。</p> <p>・昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の花き流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年度に松山市中央卸売市場花き部を開設した。平成22年4月、松山市公設花き地方卸売市場に転換した。</p>						
対象・内容	<p>【対象】松山市公設花き地方卸売市場及び関係者</p> <p>【事業内容】松山市公設花き地方卸売市場の維持管理に必要な光熱水費の支払、保安警備、清掃業務、各施設・設備の保守点検管理業務等の委託を行う。</p>						

2.事業実施【Do】

		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費		
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】					
予算(千円)	事業費計	17,619	33,174	28,238			保安警備業務委託	8,475			
	国費・県費					電気代		8,058			
	市債							消防用設備等保守点検業務委託	377		
	その他	9,135	11,751	15,319							
	一般財源	8,484	21,423	12,919							
決算(千円)	事業費計	16,913	22,975				主な取組内容【R5】		・市場施設や設備の維持管理に必要な保安業務、清掃業務、廃棄物処理及び各施設・設備の保守点検業務を実施。		
	国費・県費										
	市債										
	その他	9,455	8,023								
	一般財源	7,458	14,952								
	(執行率)	96%	69%								
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記事項					
	その他										
	合計	0.8	0.8	0.8							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	電気使用量の抑制	目標	-	290,000	290,000	290,000		
		実績	274,188	277,883				
	現状維持	Kwh	達成率	-	104.2			
成果指標	市場開場日数	目標	205	205	203	203		
		実績	205	205				
	現状維持	日	達成率	100%	100%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	市場施設等の維持管理を適正に行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できた。						
課題	人件費や単価等の上昇により、委託料の増加傾向が続いている。電力会社等の値上げによる光熱水費の高騰が続いている。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の生鮮食料品等の流通拠点として必要な施設の維持管理を行うため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	管理担当	連絡先	924-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	門田 泰典	リーダー	大原 文博	担当	隅田 完二	堀内 大吾

1.事業概要【Plan】

事業名	花き部市場施設整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
31242							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化する		-	-	-	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進						
主な取組	流通機能の充実	根拠法令	卸売市場法、松山市公設花き地方卸売市場業務条例、松山市公設花き地方卸売市場業務条例施行規則				
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営						
目的・背景	・中央卸売市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、青果物の流通の円滑化を図る。 ・昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の青果物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和49年度に松山市中央卸売市場を開設した。						
対象・内容	【対象】松山市公設花き地方卸売市場及び関係者 【事業内容】 ・開設者として、円滑な市場業務が行えるよう、施設や設備の改修等を実施。 ・中央市場(花き部)の設備等の現状把握、設計業務、工事等の実施。 ・突発的な故障等に対する営繕工事等の実施。 ・委託業者、工事業者等への委託料、工事請負費の支出。						

2.事業実施【Do】

		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	3,000	9,600	3,000		主な経費(千円)【R5決算】	花き棟分電盤改修工事		1,340
	国費・県費						花き棟南側井水管ほか改修工事		799
	市債						花き棟2階会議室空調機取替工事		792
	その他	3,000	4,936	3,000					
	一般財源		4,664						
決算 (千円)	事業費計	2,962	5,949			主な取組内容【R5】	・市場業務が円滑に行えるよう、施設や設備の改修等を実施。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	2,962	5,592						
	一般財源		357						
	(執行率)	99%	62%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	工事請負費の抑制	目標	-	9,600	3,000	3400	・見込みより事業費を抑制できたため。	
		実績	2,962	5,949				
	現状維持	千円	達成率	-	138.0			
		目標						
		実績						
		達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	施設の機能維持を図ることができた。						
課題	施設の老朽化に伴い、工事請負費が増大している。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の生鮮食料品等の流通拠点として必要な施設の機能維持を図るため。	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	中央市場業務担当	連絡先	924-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	門田 泰典	リーダー	金子 知典	担当	関谷 宏一	秋山 祐磨

1.事業概要【Plan】

事業名	花き部業務運営事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営	
31242							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる		-	-	-	-	
施策	事業所立地と雇用創出の推進						
主な取組	流通機能の充実	根拠法令	卸売市場法、松山公設花き卸売市場業務条例、松山公設花き卸売市場業務条例施行規則				
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営						
目的・背景	・公設花き卸売市場の市場取引を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、花きの流通の円滑化を図る。 ・昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の花きの流通の円滑化及び鑑定供給を実現するため、昭和56年度に松山市中央卸売市場花き部を開設した。平成22年4月に松山市公設花き地方卸売市場へ転換した。						
対象・内容	【対象】松山市公設花き地方卸売市場及び関係者 【事業内容】関係法令に基づき、卸売業務の適正で円滑な実施を図る。 ・関係例規の整備 ・市場関係者の業務の許可、指導、監督 ・売買取引の監督等 ・花き需要拡大を図るため、フラワーデザインコンテスト「坊ちゃんカップ」への補助金の支出						

2. 事業実施【Do】

		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度					
予算 (千円)	事業費計	421	421	546		主な経費 (千円) 【R5 決算】	卸売事業者財務分析調査謝礼金	88	
	国費・県費								
	市債								
	その他	421	411	411					
	一般財源		10	135					
決算 (千円)	事業費計	338	88			主な取組内容 【R5】	・卸売業者財務分析調査を実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他	338	88						
	一般財源								
	(執行率)	80%	21%						
人役	正規職員	1.6	1.6			特記事項	実施主体の都合(会場確保に時間を要した)により、フラワーデザインコンテスト「坊ちゃんカップ」の実施が見送られた		
	その他								
	合計	1.6	1.6	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	「坊ちゃんカップ」開催事業補助	目標	1	1	1	1	実施主体の都合(会場確保に時間を要した)により、フラワーデザインコンテスト「坊ちゃんカップ」の実施が見送られた	
		実績	1	0				
	現状維持	件	達成率	100.0%	0.0%			
活動指標	財務分析(卸売業者)	目標	1	1	1	1	花きの円滑な流通や安定供給のため、関係者の財務分析を実施している。	
		実績	1	1				
	現状維持	件	達成率	100.0%	100.0%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	卸売業者の財務分析を行うことで、花きの円滑な流通や安定供給に協力することができたものの、花き業界の発展や需要拡大を目的としたフラワーデザインコンテスト「坊ちゃんカップ」が実施主体の都合(会場確保に時間を要した)で開催できなかった。						
課題	新型コロナウイルス感染対策後にコロナ以前の経済活動に戻る兆しがあり、需要拡大を見込んでいたが、物価高騰などの影響により需要の落ち込みは改善されていない。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市場の運営に必要な業務であるため	

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	中央市場業務担当	連絡先	924-2311	
部長等名	武智 剛	課等長名	門田 泰典	リーダー	金子 知典	担当	宮田 渚	秋山 祐磨

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市中央市場運営協議会負担金		事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	5:補助金・負担金	
31242								
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	暮らしを支える地域経済を活性化させる							
施策	事業所立地と雇用創出の推進			-	-	-	-	
主な取組	流通機能の充実		根拠法令	松山市中央市場運営協議会規則				
取組みの柱	経営戦略的な視点を持った市場運営							
目的・背景	<p>・市場関係者と開設者が連携し、中央市場の取引の適正化と流通の円滑化を図る。</p> <p>・昭和49年度の中央市場開設に伴い、場内事業者が連携して市場運営の円滑化を図るため、市場取引、施設整備の取扱い、環境整備等を協議し、市場の活性化を図ることを目的に設置された。</p>							
対象・内容	<p>【対象】 松山市中央市場運営協議会</p> <p>【事業内容】 市場活性化、青果部執行、花き売買取引の3つの委員会や各関係者から選出された代表者会、理事会を設置し、市場取引の適正化、環境整備、市場の活性化等について協議し、市場流通の円滑化と安定供給を図る各種取組みを実施できるよう、松山市中央市場運営協議会に負担金を支出する。</p>							

2. 事業実施【Do】

		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費/財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円)【R5決算】	松山市中央市場運営協議会負担金		840
予算(千円)	事業費計	1,200	1,200	1,200					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,200	1,200	1,200					
決算(千円)	事業費計	720	840			特記事項			
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	720	840						
	(執行率)	60%	70%						
人役	正規職員	0.3	0.5						
	その他								
	合計	0.3	0.5	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和5年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	大感謝キャンペーンポイント事業応募数	目標	14,116	18,130	17,000	17,000	市場発のポイント事業として応募数の減少はあったものの、購買者への認知度が高まっている。	
		実績	18,130	17,386				
	単年で増	件	達成率	128.4%	95.9%			
成果指標	街のまんなか日曜日イベント参加者数	目標	-	13,500	5,000	5,000	開催時期が不定期になり、令和5年度は1回の開催になったため、参加者数が目標数より少なくなっている。	
		実績	0	2,800				
	現状維持	人	達成率	-	20.7%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	<p>・新型コロナウイルス感染対策後、「街のまんなか日曜日」イベントも再開された。開催時期は不定期となったものの、イベントの開催日の問い合わせがあるなど、次回の開催を心待ちにされている。</p> <p>・ポイント事業は、参加者が若干減少したものの事業の認知度は見込まれる。</p>						
課題	イベントの再開については、市場という特殊事情がある施設であることを踏まえて、引き続き新型コロナウイルス感染症をはじめインフルエンザ等の感染対策が必要。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市場の活性化を図るためには、各種取組みを推進することが必要であるため	